

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	プライム・タイム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：プライム・タイム

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 番

4 インチ

研磨剤

比較対照ボール：プライム

フレアーの幅 インチ

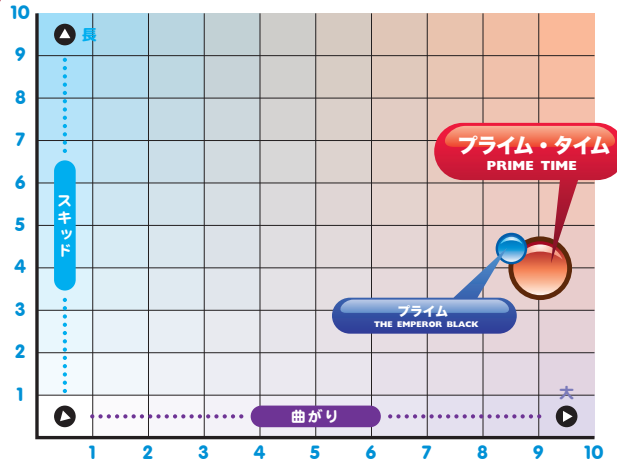
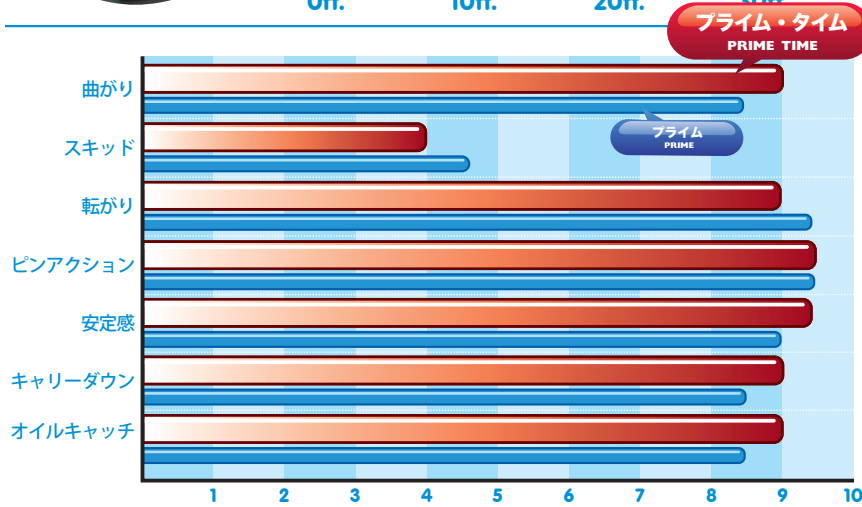
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 番

4-1/2 インチ

研磨剤



ボールの評価

昨年10月にユタ州に拠点を置くPro-amブランドとABS開発チームがタッグを組み、新しいブランドのプライムが発売されました。プライムは加藤祐哉プロのジャパンオープン優勝を支える立役者となり、衝撃のデビューを飾ったと言っても過言ではありません。その第2弾プライム タイムが更なるパワーアップを施し発売されます。前作と同じカバーストック、コアの組み合わせですが、添加剤の配合を変えてパフォーマンスを調整しています。私達がこのプライム タイムに目指したパフォーマンスは「更なる強さ、更なるキレ」です。前作は幾度となく行ったカバーとコアのマッチングの末に行きついたMidの安定感とバックエンドの攻撃性を兼ね備えた素晴らしい出来でした。そのカバーストックをベースに大幅にカバーの種類を変えるのではなく、主体とした性能を残しながら強化するべきところを添加剤を加えながらパフォーマンスの変化を導き出したのがプライム タイムです。Midの強さを一段階あげて、尚且つバックエンドの動きそのものも大きくする。私達ABS開発チームが現在考えられる最高峰のパフォーマンスが今作で実現できています。満場一致で作られた前作ですが、新たにバージョンアップさせたプライム タイムを投球してみると、Midの曲がりの安定感と曲がりの量が明らかに強く大きくなっていて、さらに安定感の中に曲がりの鋭さを得られます。安定感がこれだけボールの信頼感を上げてしまうのかと思うぐらい、もの凄く使用幅も増え、PRIMEというブランドを格段に引き上げた感じがします。ポリッシュされたボールでオイルが多いコンディション対応のボールとして、段違いのレベルの差を感じて頂けるでしょう。

特記事項

さらなる強さを求めチューンナップされたプライム タイムは、前作をはるかに上回る性能で他を圧倒するでしょう。